

## 障害者支援施設あじさい園における新型コロナウイルス感染について

今回の、利用者及び職員の新型コロナウイルス感染について、安心を求めて当施設を利用されている方のご家族のことを思うと本当に心が痛みます。また、県民の皆様にはご心配とご迷惑をおかけすることになり心からお詫び申し上げます。

知的な障害を持つ人たちの親亡きあとを考え、言わば第二の家族を作るところとして、知的障害者の親をはじめ多くの県民の方、特に近隣にお住いの方々のご協力をもって、平成7年に現住所にお世話になることになりました。

知的障害を持つ人の中には、人とのコミュニケーションがうまく取れないとか、食事をとる、入浴をする、排せつをするなどの皆様方にとっては何の問題もなくできてしまうことが、人の援助なくしては生活に不自由する方たちが多くいます。

例えば、多くの当園利用者はマスクをする、手指消毒をする、人との距離を保つ必要性を理解することが難しく、新型コロナの感染防止に気を付けることなどの留意は難しいのです。

そのような方たちの暮す施設ですので、職員一同が新型コロナウイルスが入ってこない環境を3月より作ってまいりました。例えば、職員に体調不良者が出た場合は必ず受診し、或いは葬儀等に参列した場合は、14日間の自宅研修などの協力も求めてきました。そのため、職員のご家族にもさまざまな生活上の制約があったものと思っています。

職員は出勤前の体温測定は勿論、マスク、手洗いやアルコールの手指消毒、手が多く触れる場所をアルコール若しくは次亜塩素酸ナトリウムなどで定時的に消毒するなどしてまいりました。また、出入りの業者様には非常に不便を掛けながら、物品の搬入にも細心の注意を払ってまいりました。

しかし、ここまで感染防止をしても、新型コロナウイルスは入り込んできたのです。

現在、感染した利用者（10名）は高知市保健所が指定する病院に入院をいたしました。また、感染した職員（6名）も同様に随時入院する運びになっています。

感染していない利用者については、今まで以上の感染防止に努めながら彼らの生活を支えていこうと心を引き締めているところです。

最後になりますが、治療を終えて我が家に帰ってくる利用者と、現在も当施設で生活をしている利用者に、温かいご援助を賜りますようお願い致します。

令和2年8月17日

高知市春野町秋山 2801-15  
社会福祉法人高知小鳩会  
理事長 南 守